

# 人権だより

No.296(2022.11)

## 言葉の旬

理科 飯田 修司

みなさん、秋ですね。秋といえば何を思い浮かべますか。読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋…。食べることが好きな私は、何といっても「食欲の秋」です。様々な食べ物が旬を迎え、おいしくなる時期ですね。旬と言えば、「魚介・果物・野菜など、季節の食物が出盛りの時。物がよく熟し、最も味がよい季節」という意味ですが、これは食べ物だけではなく、言葉や行動など食べ物以外にも言えることではないでしょう



旬が終われば、おいしい食べ物も味が落ちてしまうように、せっかくの善意や言葉も時期を間違えようまく伝わらなかつたり、言うタイミングすら失ったりします。

果物や野菜などは旬の時期が決まっていますが、言葉はその人その人によって掛けて欲しいタイミングが異なります。その人をじっと観察し続けていれば分かるのかもしれませんが、付き合いが短かつたり、初対面の人だつたりすると、その人が何を求めているのかを考えるのは難しいです。その人にとっての言葉の旬とはいつなのでしょう。

学校では教員という立場の私ですが、家に帰ると4人娘の父親になります。家庭の中で娘たちに伝えていることは「ありがとう」と「ごめんなさい」をすぐに言うことです。この言葉は早く言ってマイナスになることはありません。むしろすぐに言わないと、言う時期を逸してしまうこともありますし、すぐに言った方がその時の感情や誠意がストレートに伝わります。実際、何かをしてあげたときに娘からすぐに「ありがとう」が返ってくるとすごくうれしい気持ちになります。同じように、「すごいね」「かっこいいね」「大丈夫、手伝おうか」など、相手を褒めたり気遣つたりする言葉も早いに越したことはありません。気付いたときに瞬発的に言葉が出るようにしたいものです。

逆に少し時間をおいて、言うかどうか考えた方がよい言葉もあります。それは誰かを批判したり、何かを要求したりするときの言葉です。この言葉は相手を傷つけてしまう可能性があるだけに、自分が感情的になってないか、相手の立場で考えられているのか、後になって言わなければよかつた後悔してしまわないように、しっかりと寝かせる必要があります。そして本当に必要なときにその言葉を言うようにしなければなりません。

言葉を発することができる動物は人間だけです。たった一つの言葉で人は嬉しくなったり、悲しくなったり、怒ったり、笑ったり、泣いたりします。旬の食べ物をおいしくいただくように、言葉を発する時期を見極め、より良い人間関係を築いていきたいものです。

### 【保護者の声】 文章を読んだPTA 人権委員の方の感想です。

自分が軽い気持ちで言った言葉で相手を傷つけないように、相手の立場に立って発言したり、言葉を選んだりしなければならないと思いました。相手を励ましたり、褒めたりすることは大切な事と分かっている、なかなか言葉にすることが難しかったです。きちんと言葉にして伝えていこうと思います。(3年生保護者)

### 【人権委員の声】

私は普段から口調には気を付けていたり、言葉を選んで発言したりしているつもりだったけれど、いざ振り返ってみると、少し乱暴になったりしていたので、言葉を「一度寝かせる」ということを心がけていこうと思いました。(2年生 人権委員)

言葉を発する時期やタイミングを見極めることは、とても難しいことですが、せっかく言葉を発する能力・権利を持っているのだから、しっかり気を付けたいと思いました。「言葉」の持つ意味は、消えることがなく、使う時期を逃しても、また使える時期が来る。「使用期限」や「賞味期限」ではなく、またその時期が回ってくる「旬」という言葉を使っているのも面白いなと思いました。言葉の旬を生かすのも無駄にするのも僕たち人間なので、しっかりと言葉の旬を見極める力を付けていきたいです。(3年生 人権委員)

自分自身、その場その時の思いで言葉を発していることが多く、発した言葉で、実は相手を傷つけているかもしれないと思うことがあります。相手を気遣ったり、褒めたりする言葉は積極的に言葉にし、感情的になることがあっても一度相手の立場で考えるようにしていこうと思いました。(5年生 人権委員)

私も言葉には無限の力があると思っています。思っても言葉にしないと伝わらない一方で、その言葉がすべてと捉えられることが多いです。また私は、発言の他に文字に表した言葉も同様だと思っています。皆でわれわれ人間がもつ言語能力を、人の心に寄り添うツールとして活用していけたらいいなと思いました。(6年生 人権委員)

### 人権教育相談部より

文化部発表会では、人権委員会が行う募金活動にご協力いただきありがとうございました。総額31,177円が集まり、全額「愛媛県ウクライナ人道危機救援金(日本赤十字社)」に寄付いたしました。お渡しした種は来年の5月頃植えて頂けたらと思います。人権だよりを読んで活動を知っていただいた保護者の方からお声掛けをいただき、生徒たちの活動を見守っていただけていると改めて感じ、温かい気持ちになりました。今後も、自分たちにできることを考え・行動する、人権委員会としての活動を続けていきたいと思っています。